

【1 分解説】キッシンジャー外交とは？

マネジャー 城石 和秀

キッシンジャー外交は、理想主義よりも現実主義に基づく国益を中心に据えた外交、あるいはバランス・オブ・パワーを実際の政治の場に適用した外交として知られています。

2023年11月29日、国際政治学者であり、元米国国務長官であったヘンリー・キッシンジャー氏が亡くなりました。氏は、ニクソン政権およびフォード政権の時代に、米ソ間の核軍縮、米中和解、ベトナム戦争終結、中東和平に大きく貢献したと評価されています（資料）。

しかし、これらの成果をもって氏を平和主義者、理想主義者と評する人はいないでしょう。氏は、むしろ実利的で冷徹な現実主義者と見られています。チリのピノチェト軍事政権の支持などに対しては、道義面、人道面からの批判も受けています。ノーベル平和賞受賞も物議を醸しました。

一方、氏は決して覇権主義者ではありません。冷戦という時代において、低下傾向にあった米国の国際的な地位、あるいは威信を回復させ、バランス・オブ・パワーの観点から相応の安定状態をもたらしたところに、その功績が認められます。

ロシアとウクライナの紛争、米中間の緊張、イスラエルとハマスの紛争等、混沌とした国際情勢の中、キッシンジャー氏逝去の報は1つの時代の終わりを告げるものかもしれません。

資料 キッシンジャー氏の功績例

| | |
|--|--|
| 米ソ間の核軍縮 | ニクソン大統領のソ連訪問と第一次戦略兵器制限交渉（SALT I）妥結（1972年5月） |
| 米中和解 | ニクソン大統領の中国訪問と米中共同声明（1972年2月） ※国交正常化は1979年1月（カーター政権） |
| ベトナム戦争終結 | ベトナム戦争終結と平和回復に関する協定（ベトナム和平パリ協定）締結（1973年1月）と米軍のベトナムからの撤退 ※ノーベル平和賞受賞（1973年） |
| 中東和平 | 第4次中東戦争後のエジプトとイスラエル間の兵力引き離し協定の仲介（1974年1月） ※キャンプ・デービッド合意は1978年9月（カーター政権） |
| （参考）キッシンジャー氏の政権内での役職 ・国家安全保障問題担当大統領補佐官（1969年1月～1975年11月） ・国務長官（1973年9月～1977年1月） ※1973年9月～1975年11月は兼務 | |

（出所）大嶽秀夫「ニクソンとキッシンジャー」、ウォルター・アイザックソン「キッシンジャー 世界をデザインした男」他に基づき第一生命経済研究所作成